

「東京大学 数理・情報教育研究センターを設置」

1. 会見日時： 平成 29 年 2 月 1 日（水） 14：00～15:00
2. 会見場所： 東京大学 本郷キャンパス 列品館 1 階 大会議室（文京区本郷 7-3-1）
3. 出席者：
 - (1) 発表者
石川 正俊 東京大学大学院情報理工学系研究科長（責任部局長）
駒木 文保 東京大学大学院情報理工学系研究科 数理情報学専攻 教授（センター長）
 - (2) 司会者
中村 仁彦 東京大学大学院情報理工学系研究科 副研究科長
4. 発表のポイント：
 - ◆ 東京大学（総長：五神真）は、本年 2 月 1 日付で、連携研究機構「数理・情報教育研究センター」を設置し、活動を開始します。
 - ◆ 本センターの目的は、「数理」と「情報」を縦糸に、「応用展開」を横糸にして、数理的手法、データサイエンス及び情報技術の総合的な教育基盤を整備することです。
 - ◆ 大学、産業界、研究機関等と幅広くネットワークを形成し、地域や分野における先進的教育モデルの拠点として実践的な教育の普及に努めます。
5. 発表内容：

東京大学（総長：五神真）は、本年 2 月 1 日付で、連携研究機構「数理・情報教育研究センター」を設置し活動を開始します。数理と情報の能力の重要性は、文系分野を含む様々な分野で急速な広がりを見せており、これらの能力を有する人材の育成は喫緊の課題となっています。本センターは、「数理」と「情報」を縦糸に、「応用展開」を横糸にして、数理的手法、データサイエンス及び情報技術の総合的な教育基盤を整備することを目的としています。

本センターは、情報理工学系研究科（研究科長：石川正俊）が責任部局となり、総合文化研究科、理学系研究科、工学系研究科、数理科学研究科、情報学環の連携を得て、「連携研究機構」として設置いたします。

本センターには、数理情報部門、数学基礎教育部門、基盤情報部門、応用展開部門の 4 部門を置きます。数理情報部門では、数理及びデータサイエンスを中心とした体系化された教育基盤の整備、数学基礎教育部門では、数学の基礎の構造化と体系化された数学基礎教育の整備、基盤情報部門では、応用システムの実現に必要な情報学的基盤の整備とシステム構築に必要な教育体系の構造化、応用展開部門では、文系分野も含む様々な分野への展開を推進します。また、総合的視点に立ちカリキュラムの構造化・体系化を行います。

本センターは、平成 29 年度政府予算に盛り込まれた「数理・データサイエンス教育の強化」事業の東京大学における実施主体となるものです。同事業で選定された 6 大学のセンターとコンソーシアムを形成し、標準カリキュラムの策定と普及等、関連する活動を協働して進めるとともに、他大学への展開も予定しています。東京大学は、6 大学コンソーシアムの幹事校として、大学、産業界、研究機関等とも幅広くネットワークを形成し、地域や分野における先進的教育モデルの拠点として実践的な教育の普及に努めます。

特に、産業界の協力の下に産業界にもコンソーシアムを形成し、本センターと連携して関連分野の教育体系を産学連携の下で進める予定です。

6. 参考：

「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」の拠点校の選定について

平成 28 年 12 月 21 日 文部科学省 数理及びデータサイエンス教育の強化に関する懇談会

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/080/gaiyou/1380792.htm

「大学の数理・データサイエンス教育強化方策について」の公表について

平成 28 年 12 月 21 日 文部科学省 数理及びデータサイエンス教育の強化に関する懇談会

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/080/gaiyou/1380788.htm

東京大学 数理・情報教育研究センター

一般教養教育・専門教育における人材の育成 → 数理・情報人材の裾野の拡大
 長期的視点に立ち、産業界との連携によって、社会が求める人材の供給

6大学コンソーシアム
 標準カリキュラムなどを通して他大学等全国展開

産業界コンソーシアム
 関連教育における大学↔産業界で連携した人材育成

幹事校

強い産学連携

世界的研究成果の創出
 先端的研究人材の育成

東京大学 数理・情報教育研究センター

文系分野を含む様々な分野への展開

強い連携

全学数理教育への展開

博士課程
 大学院
 修士課程

数理情報部門
 数理及びデータサイエンスを中心として、学部後期課程における専門基礎教育並びに大学院教育として、体系化された教育基盤を整備し、幅広く関連能力を有する人材の教育を行う。

応用展開部門
 数理及びデータサイエンスに関し、文系分野も含む様々な分野への展開を図り、それぞれの応用分野において、数理・情報的問題解決能力を持ち、新しい価値の創造を担う人材の育成を行う。「数理情報部門」と「基盤情報部門」と強く連携して、体系的な教育を行う。

基盤情報部門
 数理及びデータサイエンスに基づく応用システムの実現に必要な情報学的基盤を整備し、ビッグデータ対応を中心として、コンピュータ、データサーバー、インターネット、さらにはIoTやセンサネットワーク等、システム構築に必要な教育体系の構造化を行い、システム構築能力を有する人材の育成を行う。

博士課程
 大学院
 修士課程

全学情報教育への展開

全学数学教育への貢献

後期課程
 学部
 前期課程

学部前期課程における一般教育並びに学部後期課程における専門基礎教育として、数学の基礎を構造化し、体系化された数学基礎教育を行う。
数学基礎教育部門

標準カリキュラム
 関連教育の総合的視点からの構造化・体系化に基づき作成する。

学部前期課程における一般教育並びに学部後期課程における専門基礎教育として、情報の基礎を構造化し、体系化された情報基礎教育を行う。

後期課程
 学部
 前期課程

全学情報教育への貢献

高校数学教育

高大接続

高校情報教育

次世代知能科学研究センター
 人工知能技術を総合的に研究する。社会実装も含めた世界トップの研究成果の創出並びに関連分野をリードする研究人材の育成を行う。

高大接続に始まり、理論的手法を学ぶ「**数理**」とシステム構築能力を学ぶ「**情報**」を学部から大学院に向けた**縦系**に、文系分野を含む幅広い分野での活用に必要な能力と経験を培う「**応用展開**」を分野を広げる**横系**にして、総合的な教育基盤を整備するための**連携研究機構**として設置する。これにより、数理・情報の資質に基づき、社会における課題の抽出、問題の解決、価値の創造ができる人材を育成する。